

などと連携し、体力にあわせて働くことのできる仕組みづくりを検討するとともに、相談体制の強化に向けた保健師の増員、社会教育事業の充実、観光、文化、歴史、自然などの豊かな佐渡の環境を活かした学びの場の提供など、地域で活躍できる高齢者の活動の支援を強化いたします。

## (5) 医療・介護・福祉が充実した島づくり

高齢化率が高く、離島である佐渡においては、医療・介護・福祉が連携し、地域医療を守っていくことが重要であり、特に両津病院の新築、特別養護老人ホームの整備など、必要規模での建築に向けた整備と計画策定を進めてまいります。併せて、老人ホームについては民営化も視野に入れ、早急に検討してまいります。また、人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関の経営も厳しい状態となっております。人材の確保や遠隔医療の体制整備などの方針と併せて、佐渡市医療構想の見直しなども含めた、地域医療の将来像の検討を進めてまいります。

## (6) 教育と文化の島づくり

佐渡の宝である子どもたちが、将来に希望をいただき、郷土を愛し、誇り高く進んでもらうことが、佐渡に賑やかさを取り戻す根本的な対策であり、そのための教育がとても重要であると考えております。幼少期から佐渡を知る取り組みとしてキャリア教育を実践することで、ふるさと



能楽、佐渡おけさや鬼太鼓などの佐渡の魅力あふれる伝統文化

佐渡を誇りとし、島のハンディを乗り越えながら、世界に羽ばたくことのできる子どもを育成する教育に全力で取り組み、成長後は佐渡に戻る人、戻れなくても佐渡を支援していただける人、支援できなくても佐渡を想い発信していただける人など、佐渡出身の子どもたちが関係人口を巻き込み、佐渡を支える人材となる教育を進めてまいります。

また、子どもから大人まで「佐渡学」を学ぶ生涯学習を、文化、歴史、芸能などの佐渡の豊かな資源と世界遺産を目指す佐渡金銀山、世界農業遺産、佐渡ジオパークなどと組み合わせ、すべての市民が佐渡を誇りに思い、守り続ける一歩を踏み出すことができる体制を構築していくとともに、図書館、博物館などの方針についても市民の皆さまのご意見を反映した計画策定を進めてまいります。

## 前に進める市政へ

以上、私の市政運営に関する基本的な考え方と、市政を前に進めるための6本の柱について、述べさせていただきます。

ほかの重要施策として、SDGs（エスディーズ）持続可能な開発目標）を柱とした持続可能な島づくりに向けた戦略の策定、佐渡市の目

指すべき将来像や行財政計画、定員適正化計画など、行政指針が明確となる佐渡市の最上位計画の策定、風力、ソーラー、バイオマスエネルギーに水素を組み合わせた再生エネルギーのベストミックスの島づくり、トキの野生復帰や世界農業遺産などの活用による発信力の向上や地域間交流と関係人口の増加対策など、さまざまな戦略の構築とスピード感を持った実践を行わなければなりません。

しかし、これは私一人の力ではできうるものではありません。市民の皆さまと共に、国や新潟県、他の自治体、関係団体、企業、大学など島内外の方々の連携を図り、職員の「佐渡を前に動かす」という熱い思いが一体となり共振する「ワンチーム佐渡」により実現したいと考えております。

賑やかな島を取り戻し、希望に満ち溢れた島を未来に継承するため、一日一日を一念岩をも通す、この思いで職務に邁進してまいりますので、議員の皆さまにおかれましては、市政運営への特段のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。市長就任に当たつての所信とさせていただきます。

お問い合わせ 企画課政策推進係

☎ 63-3802